

お披露目された「齋藤亭」の前で語り合う長谷理事長(左)と富山さん



## 帯広電信通り商店街

# 古民家改築サロン完成

## 「齋藤亭」住民交流の場に

帯広電信通り商店街振興組合(長谷渉理事長)は15日、古民家を改築した交流施設「salon(サロン) 齋藤亭」(帯広市東2南4)の完成記念式典を行い、地域住民ら約40人が集まって祝った。

(稲塚寛子)

古民家は、昭和9年(1934年)に、裁判官だった齋藤長明さんが退任後に建てた家屋。20畳の和室、10畳の洋間などを擁し、建築専門誌で紹介されたこと

もある。齋藤さんの孫で、古民家の隣に住む富山弘美さんによると、8年ほど使用していなかったという。

同組合が2013年秋に地域住民に行った商店街に関するアンケートでは、住民同士が交流できる施設を求める声が多かった。「施設を造るなら、地域の歴史を感じさせる古民家を使いたい」と長谷理事長が富山さんに家の利用を打診したところ、「廃屋となっていた家がよみがえれば、うれ

しい」と快諾し実現した。同組合が国の補助金などを活用し約2800万円かけて改修した。施設の名称も古民家を強調するため「齋藤亭」とした。式典で長谷理事長は「地

域に役立つ施設として進化させたい」とあいさつ。今回新たに組合理事に就任した富山さんも「多くの人に利用してほしい」と笑顔で語っていた。